日立通過検知システム
AirLocation/MJ

タグをかざす必要のない、
ハンズフリー入退管理を実現。
自動扉などと連携すれば、
利便性やセキュリティが
さらにアップ。

AirLocation/MJ

LF発信機

RF受信機

名札型タグ

1 電波のカーテンによる確実な検知

LFアンテナによって、感度コントラストがはっきりとした電界(LF電波カーテン)を形成。タグはこの中でのみ発信するため、確実な検知が可能になります。※1

2 タグは薄型で、電池も長持ち

タグはLF電波カーテンの外では電波を発信せず、微弱電波を採用しているため、名刺大・厚さ2.99mmのコンパクトサイズでありながら、約5年※2という長い電池寿命を実現しています。

3 ゲートの通過方向を把握可能

それぞれのLF電波カーテンにはIDが付与されており、ゲートを通過すると、そのIDが受信機に通知されるため、「どのタグが、どのゲートを、いつ入場もしくは退場したか」を把握することが可能です。

4 複数人の入退場を同時検知

マルチチャネルや、短時間に多数のタグが通過しても対応できる輻輳(ふくそう)制御方式を採用。1ゲート当たり毎分1,200個ものタグの通過を検知することができます。

LF：Low Frequency　RF：Radio Frequency

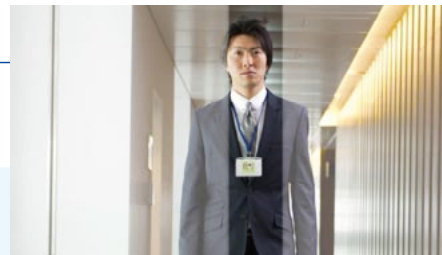
※1 本製品は微弱な電波を利用しているため、外的要因などにより本来の性能を発揮できない場合があります。

※2 電池寿命は使用環境によって異なります。

こんなシーンに、AirLocation/MJ。

Scene 1 オフィス内の機密エリアへの入退管理に

タグを装着していれば、リーダーにかざすことなく、ハンズフリーで入退認証や扉の解錠が可能。オフィス内のデータセンターなどの機密エリアへの入退管理が、よりスマートに行えます。また、指静脈認証との組み合わせにより、さらにセキュリティに優れたシステムも構築できます。

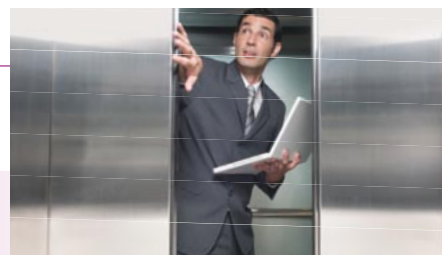
導入効果
- よりスマートな入退管理
- さらにセキュアな入退管理への発展も

Scene 2 工場でのセキュリティ管理に

入退の際、わざわざタグを取り出す必要がないため、食品工場などにおける異物混入の予防に貢献。また、他システムとの連携により、タグを持っていない人が、持っている人と一緒に入ってしまう共連れを検知したり、災害・事故発生時の速やかな退出や避難状況の把握にも役立つなど、工場におけるセキュリティを大幅に向上させます。

導入効果
- 異物混入の予防
- 共連れ入退の検知
- 災害・事故時の避難状況把握

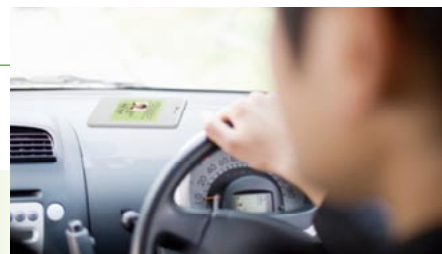
Scene 3 情報機器の持ち出し管理に

あらかじめ情報機器にタグを装着しておき、持ち出し申請をしていない者がそれをエリア外へと持ち出そうとすると、ゲート付近や管理者席の表示灯が点灯したり、管理者にメールを送信することにより、不正持ち出しを未然に防ぐシステムを構築できます。

導入効果
- 情報漏えいの予防
- 情報機器の盗難防止

Scene 4 車両の通過管理に

ダッシュボード上やドライバーの胸ストラップなどにタグを装着することで、クルマに乗車したままで通過検知をすることも可能になります。※ 企業の駐車場における通勤車両や取引先車両の通過管理をはじめ、クルマで参加するイベントなどへの応用も期待されます。

※タグの取付位置、車種、外部環境などにより正しく動作しない場合があります。

導入効果
- 車両管理の効率化

安全に関するご注意	正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」、「使用上のご注意」などをよくお読みのうえ、おまもりください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

■ 製品情報サイト
http://www.hitachi.co.jp/products/it/network/wirelessinfo/ws_index.html

■ インターネットでのお問い合わせ
http://www.hitachi.co.jp/network/contact/

株式会社 日立製作所　情報・通信システム社　通信ネットワーク事業部

CA-852P 2013.10
Printed in Japan(H)